

令和5年度 集落アンケート結果のお知らせ

(野生鳥獣による被害等)

令和6年2月29日
福島県自然保護課

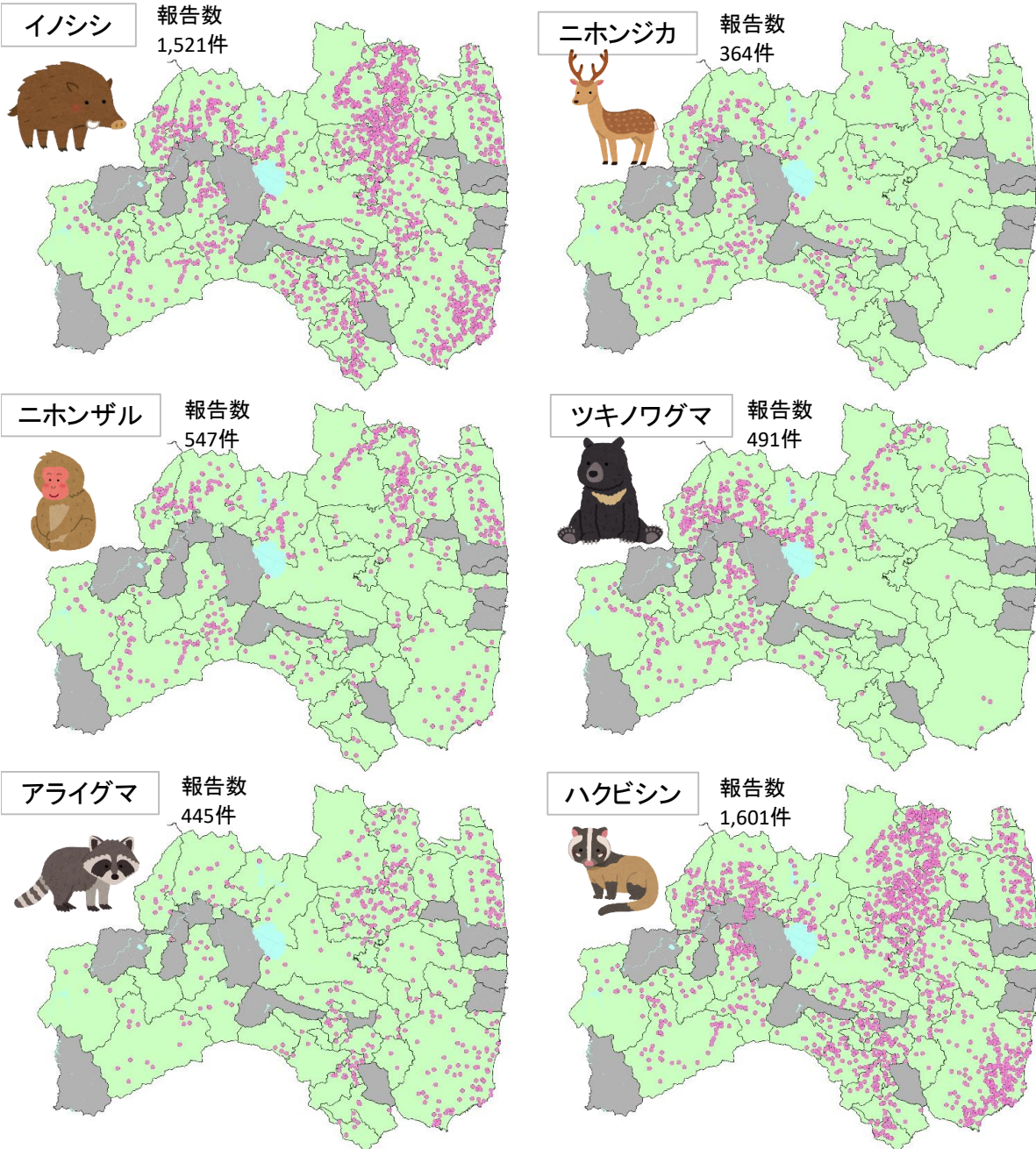
県内の野生鳥獣の分布や被害状況を把握し、適切な対策を行うため、イノシシ・ニホンジカ・ニホンザル・ツキノワグマ・アライグマ・ハクビシンを対象に、被害の状況等についてアンケートを実施しました。調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。
お住まいの地域やその周辺の地域の状況を参考に対策を行ってください。

【調査概要】

令和5年11月～令和6年1月の期間で、県内59市町村のうち47市町村を対象に、1集落につき1枚アンケート用紙を配布して調査を実施しました。
アンケート用紙は3,925枚配布し、2,550枚の回答がありました。

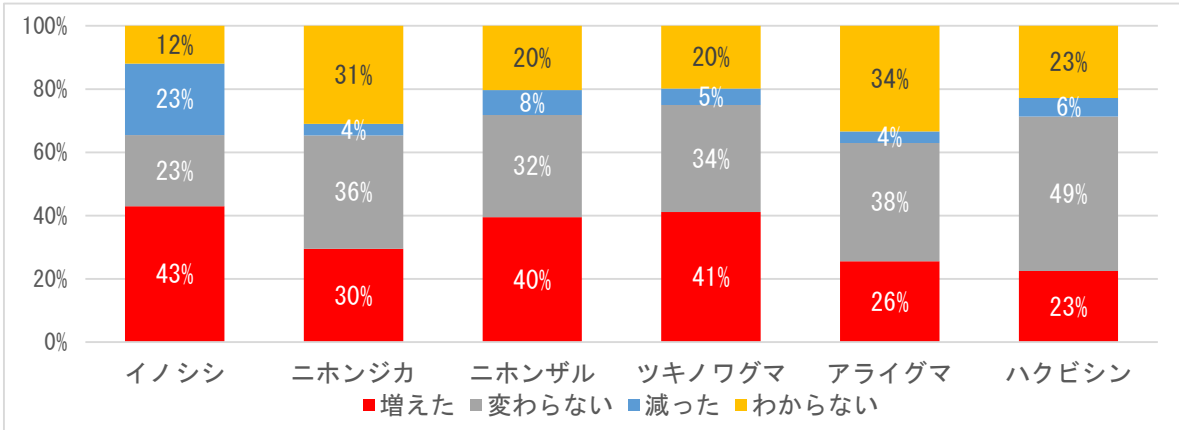
野生鳥獣の目撃報告（令和5年）

● 調査した市町村 ● 調査不実施の市町村



イノシシ、ハクビシンは県内全域で多く目撃されています。
会津地方及び県北地方ではツキノワグマも多く目撃されています。
目撃が確認された地域にお住まいの方は、被害が発生してしまう前に、適切な防除対策を行いましょう。
対策の例) 獣が人の生活圏に侵入しないよう、ヤブの刈り払いをする
エサとなるような生ゴミや収穫残さ、未利用果樹などを適切に処理する
農地や家庭菜園などに侵入しないよう、柵を設置する

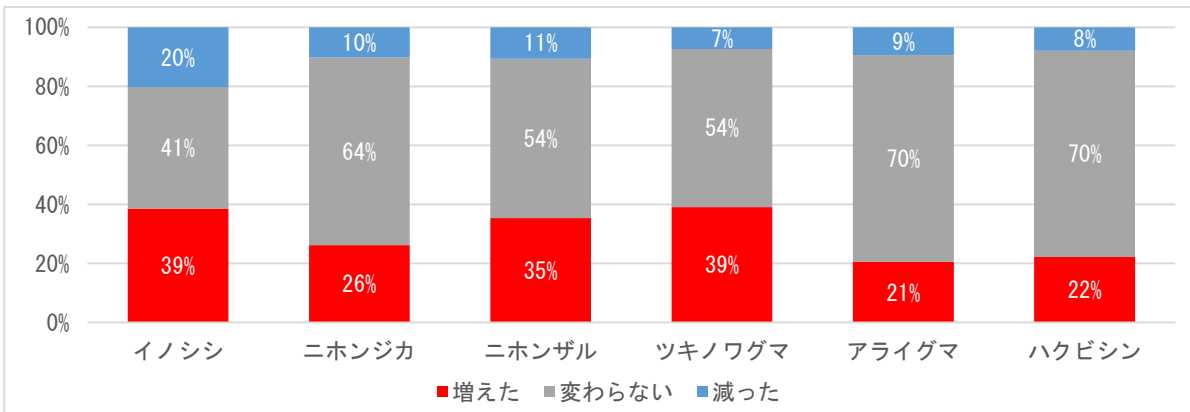
野生鳥獣の増減[5年前（令和元年）との比較]



野生鳥獣の増減は5年前と比較して、イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ツキノワグマが「増えた」と回答した集落が3割以上ありました。

被害の増減

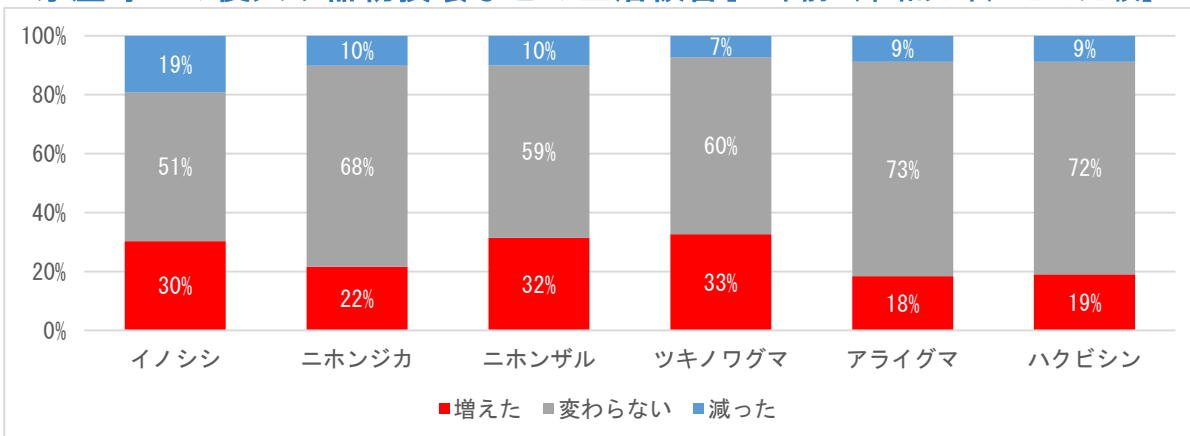
農作物の被害[5年前（令和元年）との比較]



【主な農作物被害】

- イノシシ：水稲・野菜
- ニホンジカ・アライグマ・ハクビシン：野菜
- ニホンザル：野菜・果樹
- ツキノワグマ：果樹

家屋等への侵入や器物損壊などの生活被害[5年前（令和元年）との比較]



【主な生活被害】

- イノシシ：地面の掘り返し
- ニホンジカ：樹皮はぎ
- ニホンザル・ツキノワグマ・アライグマ：住宅地への出没
- ハクビシン：家屋への侵入

野生鳥獣による農作物への被害は5年前と比較して、イノシシを除く全ての獣種において「変わらない」と回答した集落が5割を超えました。

しかし、イノシシ、ニホンザル、ツキノワグマについては「増えた」と回答した集落が3割を占めています。

対策をしても被害にあってしまうなど、困ったときはお住まいの市町村にご相談ください。
集落アンケートの詳細は、県自然保護課のホームページからご確認ください。